

R2K シリーズ

取扱説明書

RS-232-C / RS-485 コンバータ

形式  
R2K - 1

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

- ・本器は一般産業用です。安全機器や事故防止システムなど人命や自然破壊など、より高い安全性が要求される用途、また車両制御や燃焼制御機器など、より高い信頼性が要求される用途には、必ずしも万全の機能を持つ物ではありません。
- ・安全にご使用いただくために、機器の設置や接続は、電氣的知識のある技術者が行って下さい。

梱包内容を確認して下さい

- ・本体 ..... 1 台
  - ・AC アダプタ ..... 1 個
- ただし AC アダプタは BR2 電源時のみ付きます。

形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

EC 指令適合品としてご使用の場合

下記の条件において正しく設置した場合に EMC 指令に適合できます。

- ・ユニットは盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内に設置して下さい。
  - ・ノイズフィルタを入れて下さい。
- ユニットの電源、RS-232-C および RS-485 のケーブルには、ZCAT3035 - 1330 TDK 製または相当品をご使用下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電流  
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。

交流電源：定格電圧 100 VAC の場合

AC 100 V  $\pm$  10 %、50 / 60  $\pm$  2 Hz

直流電源：定格電圧 24 VDC の場合 DC 24 V  $\pm$  10 %、約 2 W

取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -5 ~ +60 (AC アダプタ付は 0 ~ 40 ) を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。
- ・配線などで本体の通風口を塞がぬようご注意ください。

配線について

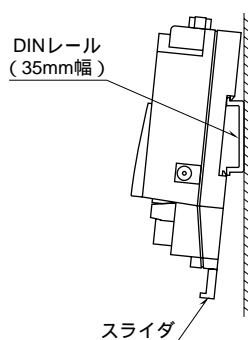
- ・より対線はシールド付より対線 (CPEV-S 0.9 ) を使用して下さい。また、より対線の終端で使用する場合は、端子 2 - 3 間を短絡して下さい。
- ・誤配線は機器に損傷を与える可能性があります。
- ・ケーブルを可動部に使用したり、強く引っ張らないで下さい。
- ・配線 (電源線、入力信号線) は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

取付方法

DIN レール取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。

スライダを引出し、フックを DIN レールに掛けて下さい。DIN レールに押しつけた状態でスライダを元に戻して下さい。



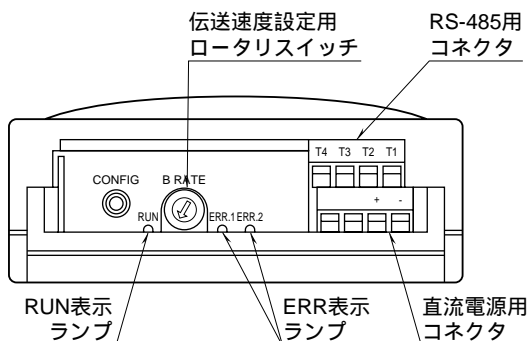
壁取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。

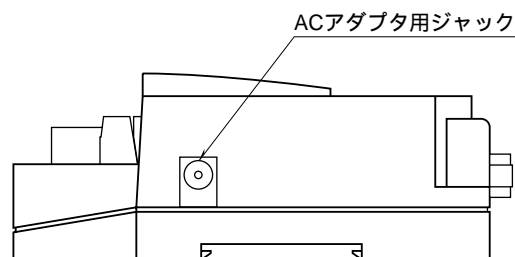
スライダを引出し、次ページの外形寸法図を参考に取付けて下さい。

# 各部の名称

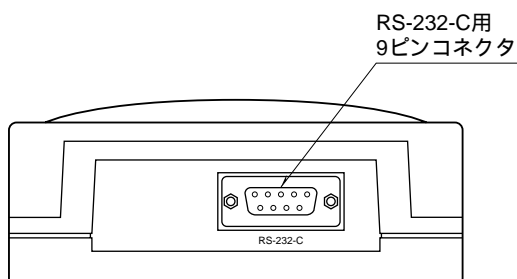
前面図



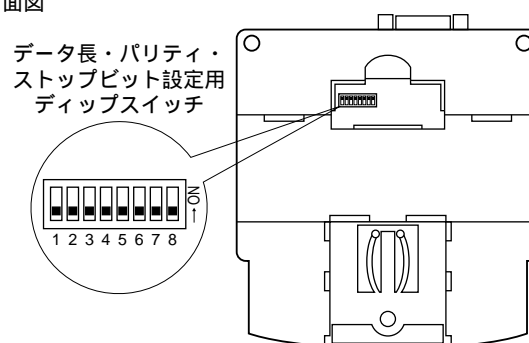
側面図



背面図



下面図



## 各種スイッチの設定

### 伝送速度設定

ロータリスイッチ	伝送速度 (bps)
0	300
1	600
2	1200
3	2400
4	4800
5	9600
6	14.4 k
7	19.2 k
8	28.8 k
9	38.4 k (*)
10	57.6 k
11	76.8 k
12	未使用
13	未使用
14	未使用
15	未使用

### データ長・パリティ・ストップビット設定

ディップスイッチ	内容	スイッチ	設定
1	データ長	ON	7ビット
		OFF	8ビット(*)
2	パリティ	ON	なし
		OFF	あり(*)
3	パリティ	ON	偶数
		OFF	奇数(*)
4	ストップビット	ON	2ビット
		OFF	1ビット(*)
5	未使用	-	-
6	未使用	-	-
7	未使用	-	-
8	エラースルー	ON	エラースルー OFF
		OFF	エラースルー ON(*)

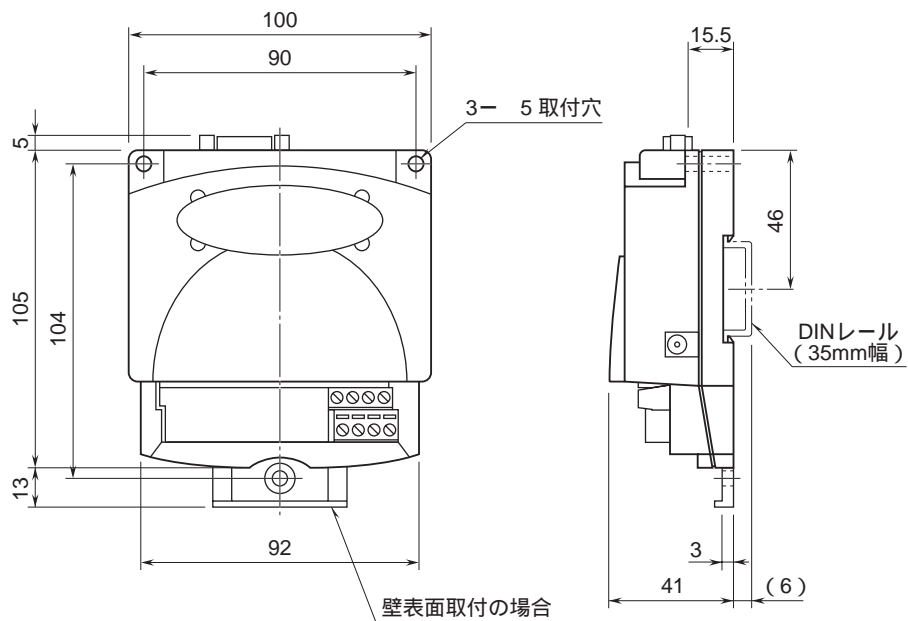
(\*) は工場出荷時の設定です。

注) 弊社 PC レコーダソフトなどを使用する場合には、ディップスイッチは工場出荷時のままで通信できます。

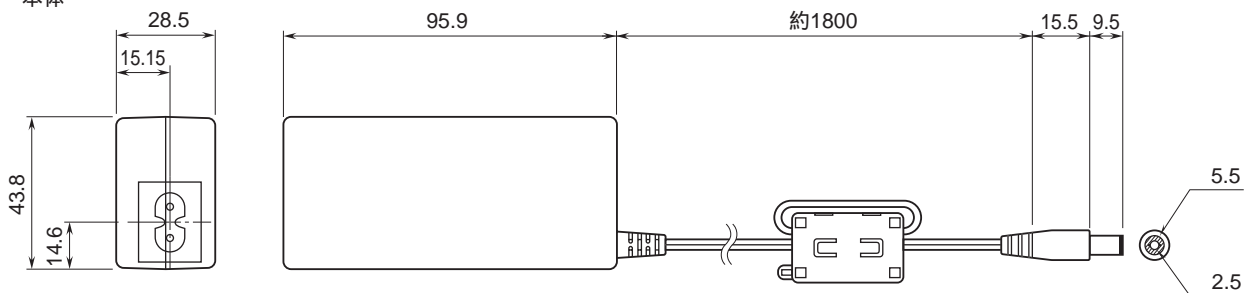
# 接 続

各端子の接続は下図の端子接続図を参考にして行って下さい。

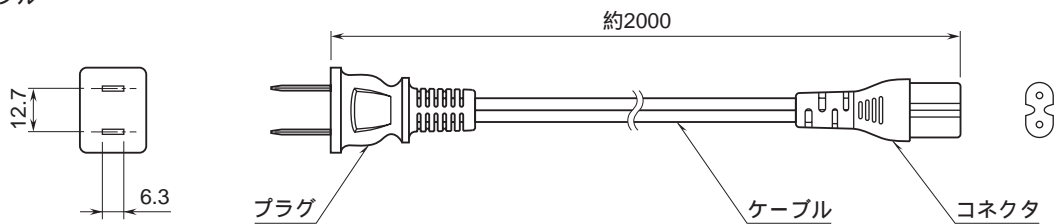
外形寸法図 (単位: mm)



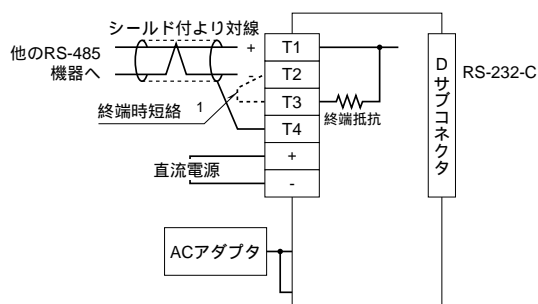
ACアダプタ  
本体



ケーブル



## 端子接続図



- 1、RS-485の通信ラインの終端になる場合は端子T2、T3間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。
- 注、RS-485 - 電源間はアイソレーションされておりません。  
雷による誘導サージ対策のため、当社製電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご利用下さい。

## RS-232-C インタフェース



略号	ピン番号	機能	説明
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ信号
SG	5	信号用アース	信号用アース
CS	7	送信可	本器へのデータ送信許可
RS	8	送信要求	送信要求の信号
	1	接続不可	信号の中継など、他の用途に使用しないで下さい。
	4		
	6		
	9		

## 点 検

端子接続図に従って結線がされていますか。

供給電源の電圧は正常ですか。

ACアダプタ付でない場合は、端子番号+ - -間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。